

■取材・本件に関するお問い合わせ■ ヒューマンアカデミー株式会社 広報担当 原・高橋
E-mail : ha_info@athuman.com

■背景

近年、学校教育では、子どもたちが自ら課題を発見し、情報を収集・分析しながら解決策を考える「探究的な学び」が重視されています。文部科学省は、探究を実社会や実生活の中から問いを見だし、自ら課題を設定して情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現する学習活動と位置づけています（※）。

こうした中、RISE は、子どもたちが身近な地域課題に目を向け、ロボットやデジタル技術などを活用して解決策を考え、発表する「探究フェス 2026」を全国 7 会場で開催しています。

東北会場では、地域の農業や食に関わる課題をテーマに、子どもたちが解決に向けたアイデアを考え、発表する機会を設けます。また、地域の大学に所属する学生団体などによる科学技術やものづくりに触れる体験プログラムも展開します。

（※）出典：文部科学省「総合的な学習（探究）の時間」

■東北の農業と食をテーマに、子どもたちが探究成果を発表

東北会場では、小学生向けの推奨テーマを「ミライの東北の農業と食を考えよう！（農業・食）」としています。このテーマでは、子どもたちが農作物の栽培から食品の加工・流通まで、地域の食を支える人々の仕事に目を向け、人手不足や身体的な作業負担などの課題について、ロボットやデジタル技術を活用した解決のアイデアを考えます。なお、推奨テーマ以外の自由な発想による作品も対象としています。

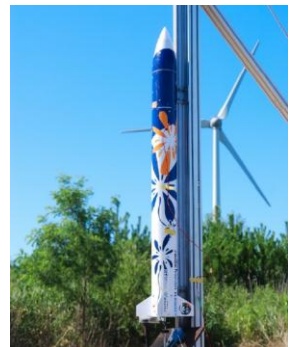
中学生・高校生向けには、「防災・減災」「観光・地域文化」「一次産業の支援」「福祉・共生社会」の 4 つのテーマを設定しています。防災や地域の魅力発信、農林水産業の支援、高齢者や障害のある人々の暮らしを支える取り組みなど、幅広い社会課題を題材に探究する機会を設けます。

ロボットコンテスト部門では、参加者が製作したロボットや、製作に込めたアイデアをステージで発表するほか、講師によるエキシビションや表彰式を実施します。アイデアポスター部門では、特設会場で参加者が自分のポスターの前に立ち、興味を持った来場者にアイデアを説明します。来場者からの質問や感想を通じて、子どもたちが自分の考えを伝え、交流する機会を設けます。

■東北大学の学生団体「FROM THE EARTH」によるロケット展示・科学体験

東北会場では、東北大学の学生団体「FROM THE EARTH」によるロケット関連の展示や科学体験を予定しています。ロケットや団体の活動を紹介するポスターの展示に加え、模擬人工衛星『CanSat（カンサット）』の操縦体験などを実施する予定です。

大学生の活動紹介や体験プログラムを通じて、子どもたちが宇宙開発やものづくりを身近に感じ、科学技術への興味や関心を広げる機会を設けます。



「FROM THE EARTH」が開発したロケット
写真提供：FROM THE EARTH

■東北芸術工科大学総合美術コースによる 2 種類のアート体験

東北芸術工科大学総合美術コースによるアート体験では、「花の進化研究室 ～最強の花を発明せよ！～」と「海を彩れ！ペタキウお魚！」の 2 つのプログラムを予定しています。

「花の進化研究室 ～最強の花を発明せよ！～」では、色とりどりの紙を使って自分だけの花を制作し、海や山、宇宙などをイメージしたフィールドに飾ります。さまざまな環境を想像しながら、自由な発想を形にする楽しさを体験します。

「海を彩れ！ペタキウお魚！」では、透明な板に半紙やホログラムを貼り、オリジナルの魚を制作します。参加者の作品を集めて大きな魚群をつくることで、表現を工夫する楽しさや共同制作の面白さに触れられます。

総合美術
Arts & Communication

東北芸術工科大学 総合美術コース

■ロボット操作やプログラミングの体験コーナーも設置

東北会場では、ロボットコンテストやアイデアポスターの発表に加え、来場者がロボットやデジタル技術に触れられる体験コーナーを設置します。

ロボット操作体験では、相撲ロボットを操作しての対戦や、ロボットを操作してあめのつかみ取りなどを楽しむことができます。また、ビジュアルプログラミングで制作されたゲームを楽しめるコーナーも設けます。

大学生による科学体験やアート体験とあわせ、子どもたちがロボットの操作やゲームを通じて、ものづくりやデジタル技術への関心を広げる機会を提供します。



ロボット相撲対決の様子
(写真は神奈川会場)

■「探究フェス 2026 東北」開催概要

開催場所	夢メッセみやぎ「本館会議棟」 〒983-0001 宮城県仙台市宮城野区港 3 丁目 1-7 みやぎ産業交流センター
日時	2026 年 11 月 3 日（火・祝）受付開始時間 10:00/ 雨天決行
参加費	無料
申込方法	体験プログラムなどは当日受付参加可能です。
主催	一般社団法人未来創生 STREAM 教育総合研究所
共催	一般社団法人デジタル人材共創連盟
協力	ヒューマンアカデミー株式会社
主な内容	ロボットコンテスト、アイデアポスター発表、東北大学「FROM THE EARTH」による科学体験、東北芸術工科大学総合美術コースによるアート体験、ロボット・プログラミング体験
HP	https://www.rise.or.jp/tankyu_fes/tohoku/

■メディア関係者の皆さまへ ご取材に関して

「探究フェス 2026 東北」では、当日のご取材を受け付けております。東北の農業と食をテーマにしたロボットコンテストやアイデアポスターの発表に加え、東北大学の学生団体「FROM THE EARTH」によるロケット関連の展示や科学体験、東北芸術工科大学総合美術コースによるアート体験、ロボット操作やプログラミングの体験コーナーなどをご取材いただけます。

取材をご希望の報道関係者の方は 2026 年 11 月 2 日（月）12:00 までに、下記お問い合わせ先まで、媒体名・ご担当者名・取材希望日時・ご連絡先をお知らせください。

ヒューマンアカデミー株式会社 広報・ブランド推進室 担当 原・高橋

E-mail : ha_info@athuman.com

■「探究フェス 2026」について

「探究フェス 2026」は、子どもたちが地域の課題について考え、ロボットやデジタル技術などを活用してアイデアを形にし、発表する地域密着型の探究成果発表イベントで、2026 年 9 月 5 日（土）神奈川会場からスタートし、全国各地で行われます。

■一般社団法人未来創生 STREAM 教育総合研究所（RISE）について

ロボット教育のもつ学びの可能性を提示し、客観的に評価する協会団体「一般社団法人未来創生 STREAM 教育総合研究所（略：RISE）」を2024年6月に設立しました。団体名にあるSTREAM教育とは、STEAM教育



（Science: 科学、Technology: 技術、Engineering: 工学、Arts: 教養/創造性、Mathematics: 数学）にRobotics（ロボット技術）のRを加えたもの。RにはReality（現実性）やReviewing（評価）などの意味もあり、今後ますます複雑化する社会を生き抜くための教育方法です。

コンテスト運営や検定運営など、教育機関や教育関係者、企業パートナーと連携しながら、ロボット教育が与える子どもの成長を評価し、次世代を担う子どもたち一人ひとりが持つ無限の可能性を育み、未来のイノベーターを生み出す契機となることを目標としています。

公式サイト：<https://www.rise.or.jp/>

■「ヒューマンアカデミージュニア ロボット教室」とは

「ヒューマンアカデミージュニア ロボット教室」は、ロボットクリエイターの高橋智隆氏をアドバイザーに迎え、2009年6月にスタート。未就学児（5～6歳）から中学生を対象に全国で展開し、教室数は2,000教室以上、在籍生徒数は27,000名を超えるロボットプログラミング教室です（2026年3月末時点）。



5歳から中学生までお子さまの年齢に合わせたさまざまなコースをご用意しており、「プレプライマリーコース」「プライマリーコース」「ベーシックコース」では、動くロボットを自ら作り上げ、試行錯誤を繰り返しながら構造や動きの仕組みを学びます。「ミドルコース」「アドバンスコース」では、さらにマイコンブロックやセンサーが追加され、専用タブレットを用いたビジュアルプログラミングでより複雑な動きを実現します。

子どもたちに科学の驚きと感動を与え、楽しく夢中になってロボット製作に取り組むうちに、新しい時代を生き抜く上で必要となる学びの基盤となる力が養われているというプログラムです。

●公式サイト URL：<https://kids.athuman.com/robo/>

■ヒューマンアカデミーについて <https://manabu.athuman.com/>

ヒューマンアカデミーは、学びの面白さを提供する「Edutainment Company」として、1985年の創設以来、時代や社会の変化にあわせながら800以上の講座を編成しました。未就学児童から中高生・大学生・社会人・シニア層とあらゆるライフステージにおけるSTEAM教育やリスティング、学び直しの支援を行っています。



さらに、独自の「ヒューマンアカデミーGIGA スクール構想」を推進し、学習支援プラットフォーム「assist」を開発。SELFing サポートカウンセラーと講師が、個別に学習目的や目標にあわせた進捗管理や相談などの学習サポートをします。私たちは、常に最先端の教育手法やテクノロジーを取り入れ、学びの喜びを追求し、質の高い教育サービスを提供していきます。

■ヒューマングループについて

1985 年の創業以来「為世為人（いせいいじん）」を理念に掲げ、教育を中核に人材、介護、保育、IT、美容、スポーツと多岐にわたる事業を展開しています。

深刻な社会課題である「労働人口減」に対し、各事業の専門性を活かした 4 領域で解決を推進しています。教育・人材事業による「海外人材の活用」「成長産業分野の専門教育と労働移動」、介護（通所・訪問・ホスピス等）や保育・学童運営

による「国内労働力の確保」、RPA・AI・IT 活用を通じた「生産性の向上」に注力。SDGs への貢献を通じて、誰もが自分らしく生き、学び、働ける社会の実現と、時代に即した労働環境の革新に取り組んでいます。

●ヒューマンホールディングス ウェブサイト：<https://www.athuman.com/>



会社概要

ヒューマンアカデミー株式会社

●代表者：代表取締役 田中 知信 ●所在地：東京都新宿区西新宿 7-5-25 西新宿プライムスクエア 1 階

●資本金：1,000 万円 ●URL：<https://manabu.athuman.com/>

■本件に関するお問い合わせ■ ヒューマンアカデミー株式会社 担当 原・高橋
E-mail：ha_info@athuman.com

■ヒューマングループに関するお問い合わせ■ ヒューマングループ 広報担当 若林
E-mail：kouhou@athuman.com